

■立憲民主党 富山県参議院選挙区第1総支部 総支部長■

山としひろ



【ごあいさつ】 とことん、追及も提案も！

日頃からの温かいご支援に心から感謝申し上げます。

さて、立憲民主党は泉健太代表のもとで、「追及型か提案型か、どちらをめざしているのか」に注目が集まっています。立憲民主党は「どちらも大事であり、バランスが大事である。必要に応じて、やるべきことをとことんやる」とのスタンスで通常国会に臨んでいます。



1月26日 富山駅南口で自治体議員と一緒に街頭演説

その象徴的事例が、18歳以下の子どもを対象とした「子育て世帯臨時特別給付金」をめぐる対応です。自治体職員のみなさんが、連日、第一線で住民のみなさんと向き合っておられますが、コロナ対策では幾度となく国策に翻弄されてきました。給付金の支給方法について、当初、クーポンを発行するか、現金支給するか、大きな議論となりました。また、児童手当に準じた所得制限が設けられ、さらに離婚後、実際の養育者に給付金が届かないことなど、さまざま制度的欠陥が明らかになりました。

立憲民主党は、クーポン発行に伴う莫大な事務費の無駄や自治体の事務の煩雑さをいち早く指摘しました。また、「離婚世帯子ども給付金支給法案」を提出し、通常国会の代表質問で取り上げたことで、世論の喚起を図りました。ついに、与党議員もこの問題を取り上げざるを得なくなり、結果、政府は立憲民主党の提案に沿ったかたちで混乱の收拾を図りました。

立憲民主党は、追及・提案にあたって、国民の命と暮らしを守り抜くことを至上命題とし、徹底的に国民のみなさんの側に立ちます。とりわけ、労働者、労働組合、中小零細企業、個人事業主、生活困窮者、若者、女性の声を国会に届けていきたいと考えます。

もっとも、憲法議論などを駆け引きの材料として、政府与党にすり寄って、政策実現を「お願い」したりすることはありません。そんなことをしても、私たちがめざす理想の社会が実現することは絶対にありません。議会制民主主義の一翼を担うのが野党であるとの気概で、「批判することが批判される」風潮に臆することなく、主張すべきことを主張します。

岸田政権 「新しい資本主義」と分配	立憲民主党提案 「人にやさしい資本主義」と「3つの分配」
<p>公定価格の引上げ 賃上げ税制の拡充 価格転嫁の円滑化 等</p>	<p>① 所得の再分配 税 制：金融所得課税強化、所得税最高税率アップ 雇 用：社会保険料事業主負担の軽減による正社員増 ：最低賃金を段階的に1500円 ：ベーシックサービス人材の賃上げ</p>
	<p>② 地方への分配 農林水産業：輸出拡大と地産地消 エネルギー：住宅用太陽光発電の更なる普及 ：公共施設省エネ・再エネ義務化法</p>
	<p>③ 将来への分配 少子化対策：子育て支援策における所得制限廃止 教 育：国公立大学の授業料半額化</p>
出典：泉健太事務所作成	令和4年1月24日（月）衆議院予算委員会 立憲民主党・無所属 泉健太

参院選まで実質的に5カ月しかありません。「人にやさしい政治」「いのち輝く富山」を実現するために、死力を尽くして闘います。支援の輪を広げるため、より一層のご支援・お力添えを賜りますようお願い申し上げます。



山としひろ活動日誌

- 1月5日 労組あいさつまわり／マスコミ取材対応
- 1月6日 早朝街宣（富山駅南口）
- 1月7日 自治労県本部拡大執行委員会 あいさつ
県職労現業協旗開き あいさつ
- 1月8日 後援会連絡所看板設置（高岡市）
- 1月11日 富山市職労執行委員会 あいさつ
- 1月12日～14日 自治労単組あいさつまわり
- 1月17日～18日 支援者あいさつまわり
- 1月20日 立憲民主党県連常任幹事会
県公務労協定期総会 あいさつ
- 1月21日 支援者あいさつまわり
- 1月22日 立憲民主党自治体議員ネットワーク総会
（オンライン参加）
- 1月26日 早朝街宣（富山駅南口）
- 1月27日 社会民主主義フォーラム富山幹事会
- 1月28日 支援者あいさつまわり
- 2月1日 支援者あいさつまわり

<お問い合わせ：山 としひろ後援会>

〒930-0856 富山市牛島新町 1-1 アトラスビル 2F

TEL (076)442-6050 FAX (076)442-6051

E-mail info@yamatoshihiro.com